



ありがとう、ロータリアン！ ⑭

子どもたちとつくる新しい未来



Eden Technical Trilingual Kindergarten and School 校長
エドナ・スヤパ・メヒア・ガルダメス さん

出身：ホンジュラス
奨学期間：2006 - 07
学校名：広島大学大学院
世話クラブ：東広島RC

国を発展させる教育と研究を目指して

ホンジュラスは、カリブ海と太平洋の両方に面した、海岸のとても美しい国です。海洋生物資源が豊富で、沿岸部には海藻が多く自生していますが、東アジアのように海藻を食べる習慣がなく、その利用価値についてはまだ知られていません。この海藻から医薬素材や食素材を開発すれば、国の発展につながると考え、私は2004年、広島大学大学院生物圏科学研究科に留学しました。

留学前は、高校の生物・化学の教師をしていました。将来、国を背負って立つ若者たちに新しい知識を身につけさせたい、そのためには教師である私自身がスキルアップしなければならない、と日ごろから感じていました。そして、四方を海に囲まれた日本は、私の勉強したい海洋生物資源分野の研究が進んでいると聞き、日本に留学したいと強く願うようになったのです。

ただ、2人の子どものことが気がかりでした。当時ま

だ7歳と4歳だった子どもたちを残していかなければならないことがどれほど辛い選択だったか。しかし、私はむしろ、そのことを力に変え研究に打ち込みました。

米山奨学金で180度変わった留学生活

そんな留学生活を支えてくれたのが、米山奨学金です。日本語があまりできなかった私が、この素晴らしい奨学金に合格できたのは、今でも神のご加護があったから、としか思えません。米山奨学生になってから、私の留学生活は180度変わりました。奨学金のおかげで、生活の心配なく思う存分勉強できるようになったのはもちろん、たくさんの貴重な経験ができました。

世話クラブの東広島ロータリークラブの皆さんには、特に感謝しています。毎月、例会に出席すると温かく歓迎してくれました。楽しいクリスマスパーティーに招待されたときは、クリスマスの喜びを日本の皆さんと分かちあえることに感動しました。美しい場所を訪れたり、伝統的な料理をいただいたり、日本の素晴らしい部分にたくさん触れることができました。

中でも、カウンセラーの鳴輪孝教さん（2008年に退会）と石井裕子さんには、大変お世話になりました。県内の離れたクラブに卓話に行ったときにも、お二人は一日がかりで付き添ってくれました。お二人と過ごした時間は、今でも鮮明に覚えています。

こうして親しく交流した日本の皆さんとの絆を大切に

学年末の発表会で日本語劇などを披露（写真左）。海岸でのフィールドワーク（写真右）



日本ではあまりなじみのない中米の国、ホンジュラスに、日本語と英語、スペイン語の3か国語の教育を行う幼稚園・小学校があります。設立したのは、米山学友のエドナ・スヤパ・メヒア・ガルダメスさん。現在、エドナさんが校長を務めるこのEden Technical Trilingual Kindergarten and Schoolには、2～12歳の約60人が学んでおり、昨年12月に開かれた学年末発表会の写真とともに、エドナさんがメッセージを寄せてくれました。

し、日本とホンジュラスの文化交流に貢献したいと願う気持ちで、帰国後、学校の設立につながりました。

いつも心に“日本”を

2010年2月、ホンジュラス第2の都市、サンペドロスーラ市内にEden Technical Trilingual Kindergarten and Schoolを開校しました。

この学校の特徴は、聖書に基づくキリスト教教育と科学的な興味を育てる理数科教育、そして日本語と英語、スペイン語を学ぶ3か国語教育を柱としています。特に、日本語を学べる幼稚園や小学校は、サンペドロスーラ市ではほかにありません。

無限の可能性をもった子どもたちに、科学への道と世界への扉を開いてあげたい。そうしたビジョンをもった質の高い教育は保護者からも評価され、毎年、入学者数は着実に増加しています。

学年末の12月には発表会を開き、子どもたちが一生懸命に練習した日本語劇や賛美歌を披露します。昨年が2回目でしたが、前年に比べてはるかに日本語も上達した子どもたちを見て、あらためてこの仕事のやりがいを感じました。「いつかこの子どもたちの歌声を日本で披露できたら……」。それが私の夢です。

私の心の中には、いつも“日本”があります。子どもたちが日本の素晴らしい文化と秩序を学び、実践すれば、

きっと私たちの国を発展させることができるはずです。10年後には、今とは違ったホンジュラスになると信じて、子どもたちと新しい未来をつかっていきたいと思えます。



石井裕子氏から一言

エドナさんは大変賢くて、努力家の奨学生でした。ホンジュラスを代表して日本に留学している、という意識が強く、本当によく勉強していました。お子さんを母親に預けての来日は大変だったと思いますが、「母国のためにがんばります」と、よく言っていました。帰国後は学校の先生になると聞いていました。ところが、学校を設立したそうで、大変立派に活躍していることをうれしく思います。エドナさん、ホンジュラスのためにがんばってください。日本から応援しています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。
TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281
Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

復興への祈りを込め桜の植樹 — 第2620地区米山学友会 —

第2620地区（静岡県・山梨県）米山学友会は2月10日、東日本大震災の被災地・岩手県山田町に桜を植樹しました。「被災地への奉仕活動を通じ、ロータリアンとともに平和の精神を学ぶことは、米山学友としての責務」との考えから企画されたものです。第2520地区（岩手県・宮城県）米山学友会などと協同で、「鎮魂と希望の鐘」が設置された丘に、早咲きのカワヅザクラ2本を植樹。学友会長の上野佳子さん（中国、現在は日本に帰化／東京臨海東RC）は「毎年3月11日には桜の花に人々が集い、鎮魂と安寧への祈りとともに手を結び合うシンボルとなればうれしい。私たちも必ず、この桜に会いに来ます」と語りました。



復興を願いつつ桜を植樹